令和４年１２月号

相談

伊勢市青少年相談センターだより

伊勢市青少年相談センター　伊勢市小俣町元町５４０　小俣総合支所２階 社会教育課

TEL 0596-22-7894　FAX 0596-23-8641　s-soudan@city.ise.mie.jp

安全で楽しい冬休みについて

学校は、まもなく冬休みを迎えます。子ども達にとっては、「冬休み」と聞いただけで楽しみや期待感で胸躍る気分になるのではと思います。気のゆるみからゲームの誘惑に負けたり、深夜徘徊、万引や喫煙、飲酒などの非行に走ってしまったりする可能性が有ります。子ども達が、非行への誘惑や不審者などの誘いに負けない強い気持ちで休みを送れるよう、また、健康的で規則正しい生活を送れるように、学校・家庭・地域社会が温かく見守り、アドバイスをしていきましょう。そして、新型コロナウイルスの感染防止のため、三密（密集、密接、密閉）を避け、マスク着用、うがい、手洗いの励行等「新しい生活様式」を守ることを忘れないでください。

○ 規則正しい生活を送らせましょう！

クリスマス、正月のクラス会などで、保護者の付き添い無しで小中学生だけでカラオケ店へ行ったり、午後10時を過ぎての深夜徘徊、友人宅への無断外泊、飲酒、喫煙等を絶対にさせないようにしましょう。

また、オンラインゲームやスマホの利用について、保護者の方は子ども達とよく話し合って、制限時間、使用時間帯やゲームの課金等のお金に関することなどを決めてルールを守らせましょう。

○ 安全に気をつけた生活を送らせましょう！

道路では遊ばせない。正しい自転車の乗り方をするなどの交通ルールを守らせることや、買い物などの用事は日が暮れる前にすませ、早めに帰宅させましょう。外出時は、行き先や帰宅時間、同伴者を保護者に伝えさせましょう。

○ 出会いやふれあいをより広げさせましょう！

新型コロナウイルスの感染防止に注意したうえで、初詣や地域の行事などに参加させて体験的な学習をさせましょう。

12月　青少年の日５日　家庭の日18日

児童生徒のいじめ・不登校が過去最多！

文部科学省は、令和４年10月27日、令和３年度に全国の国公私立の学校を対象に実施した「問題行動・不登校調査」の結果を発表しました。

○ いじめについて、小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は61万5,351件(前年度51万7,163件)で、前年度より19.0%の増加でした。令和２年度は全校種で大幅な減少となりましたが、令和３年度では全校種で再び増加しました。いじめ防止対策推進法で規定されている「いじめ重大事態」の件数は705件(前年度514件)で前年度より37.2%の増加でした。態様別では「冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が57.8%、「軽くぶつけられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」が22.9%、「仲間はずれ、集団による無視をされる」が12.0%、平成18年から増加を続ける「パソコンや携帯電話等でひぼう・中傷や嫌なことをされる」が3.6%でした。

○ 小中学校における不登校（年間30日以上の欠席）だった児童生徒は、調査の結果、24万4,940人（前年度19万6,127人）で、過去最多だった令和２年度より４万8,813人（24.9%）の増加となりました。高等学校は前年より増加しましたが、過去10年で見るとほぼ横ばいで、小中学校の不登校については９年連続で増加し、約55%が90日以上の欠席でした。不登校の主な原因については「本人の無気力・不安」が49.7%、「生活リズムの乱れ・遊び・非行」が11.7%、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が9.7%、としています。

○ 自殺について、小・中・高等学校から報告があった自殺した児童生徒の人数は368人(前年度415人)で調査開始以来過去最多であった昨年度より減少したものの、小中学生は増加しており、極めて憂慮すべき状況としています。

○ 上記統計で三重県のいじめの認知件数は4,357件(前年度3,861件)、小中学校における不登校は3,240人(前年度2,520人)で、どちらも増加しました。

○ 文部科学省は、調査結果から、不登校やいじめの増加傾向に歯止めがかからないことについて「新型コロナによる生活環境の変化が子どもたちの行動に大きな影響を与えている」と分析し、今後は心のケアをはじめ、相談体制の充実などの取り組みを推進していく必要があるとしています。